

複数NICを持つノードのCORBAオブジェクトのIORの問題

2010/02/23 17:50 - 匿名ユーザー

ステータス:	終了	開始日:	2010/02/23
優先度:	通常	期日:	
担当者:		進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明 複数のネットワークインターフェースを持つノードが、ネームサーバにオブジェクトリファレンスを登録する際、通常ローカルループバックを除くインターフェースのうち、第1番目のインターフェースのアドレスのみを含むIORをネームサーバに登録する。これにより、意図しないアドレスがIORに付与され、結果として通信のできないオブジェクトリファレンスとなる場合がある。これを回避する方法として、corba.endpoint オプションが利用できるが、指定できるアドレスはひとつのみとなり、特定のネットワークでしか使用できないIORとなる問題がある。これを回避する方法を調査し、改良を行う。			
関連するチケット: 関連している OpenRTM-aist (C++) - 機能 #1055: 複数NICを持つノードのCORBAオブ... 終了 2010/01/10			

履歴

#1 - 2010/02/23 18:02 - 匿名ユーザー

IOR に TAG_ALTERNATE_IIOB_ADDRESS を追加することが可能か調査した。

java オプションの -Dorg.omg.PortableInterceptor.ORBInitializerClass を使用し ORB インタセプタして IOR に TAG_ALTERNATE_IIOB_ADDRESS を追加することが可能であることがわった。
 テスト的に 192.168.100.224 37259 を TAG_ALTERNATE_IIOB_ADDRESS として追加するプログラムを作成した。

```

IOR:0000000000000001749444c3a48656c6c6f4170702f48656c6c6f3a312e30000000000010000000000000a6000102000000000a3132
372e302e312e3100b30300000031afabcb0000000020fa030fcd00000010000000000000100000008526f6f74504f4100000000080000
00010000000014000000000000300000001000000200000000000100010000002050100010001002000010109000000010001010
0000000260000000200020000000000030000001a0000000000000103139322e3136382e3130302e32323400918b
Type ID: "IDL:HelloApp/Hello:1.0"
Profiles:
1. IIOB 1.2 127.0.1.1 45827 ".....RootPOA....."
    TAG_CODE_SETS char native code set: ISO-8859-1
    char conversion code set: UTF-8, 0x00010020
    wchar native code set: UTF-16
    wchar conversion code set: 0x00010100

    unknown tag(0x00000026) 0x0002
    TAG_ALTERNATE_IIOB_ADDRESS 192.168.100.224 37259
    
```

インタセプタ処理の establish_components が2回動作してしまうので、この点に関しては引き続き調査が必要である。

#2 - 2010/02/23 19:27 - 匿名ユーザー

java オプションの `-Dorg.omg.PortableInterceptor.ORBInitializerClass` は `ORB.init` のプロパティで設定可能。

```
put("org.omg.PortableInterceptor.ORBInitializerClass.<Service>", "");
```

#3 - 2010/05/11 15:50 - 匿名ユーザー

- 進捗率 を 0 から 100 に変更

#4 - 2011/04/29 21:13 - n-ando

- ステータス を 担当 から 終了 に変更